

広報

2017
(平成29年)



the most beautiful
villages in japan

曾爾

そに

5

★ 平成29年度曾爾保育園入園・進級式 ★



ふふふと
再発見!!

4月5日(水)に入園・進級式が行われ、今年度は2名の子どもが入園しました。

これからも、曾爾保育園でたくさん遊んで楽しく過ごしましょうね。

施政方針・予算概要 ほか P2

議会だより P6

むらの話題 P10

地域おこし協力隊の委嘱式が行われました、曾爾中学校音楽部のコンサートが行われました ほか

お知らせ P12

平成29年度特定健診・がん検診の申し込みはお済みですか?、平成29年度国家公務員採用一般職試験(高卒者試験) ほか

みんなの広場 P16

ほけん事業予定表 ほか

●芝田村長 施政方針 (要旨)

村づくりに対する基本的な認識は、曾爾村に住む皆さんが小さな村で人口が少なくても素晴らしい地域資源を持つことに誇りと自信を持ち、それを最大限に活かすことにあります。故郷を愛し、村民自らが村づくりに参画し、「住んでみたい」、「住んでよかった」と実感できる村づくりであると考えています。「持続可能」な村づくりのために、常に住民側に立ち、「行政、議会、村民」が一体となって、明日への知恵を出し合い、住民参画による村づくりを基本理念とし、「住み続けたい、故郷曾爾村」、「光り輝くオンラインワン、ぬるべの郷曾爾村」を目指して、初心を忘れず主体性を持ち、村の活性化のために、任期仕上げの年度に向けて、村政運営に全力を尽くして参る決意を新たにしているところでもあります。

村を取り巻く社会経済情勢は大変厳しく、人口減少・少子高齢化など深刻な問題が更に増しており、今後も厳しい財政状況が懸念されます。このため、平成29年度予算は引き続き経費の削減はもちろんのこと、種々合理化に努める一方で、平成27年度に策定いたしました、「曾爾村過疎地域自立促進計画」及び「まち、ひと、しごと創生総合戦略」に基づき策定いたしました、「曾爾村地域イノベーション創生戦略」を展開しているところでございますが、これらの取り組みを国や県の補助制度を活用しながら、更に進めて参ります。また、本村の観光資源や特色を最大限に活かし、創意工夫による事業の推進とその実現に向けて努力して参りたいと考えています。

●曾爾村教育委員会 教育方針 (要旨)

曾爾村教育委員会は、子どもが基礎的・基本的な学力を身に付け、豊かな知性や感性、道徳性や体力をはぐくみ、人間性豊かに成長することを願い、またそれぞれの村民が文化的教養を高め、スポーツに親しみ、健康で豊かな人間形成を図ることができるとを願い、6つの「基本方針」に基づいて教育行政を推進します。

また、教育の質の向上を目指すとともに10年後・20年後を見据えた学校づくりに取り組むために「曾爾村小中一貫教育推進協議会」を組織し、平成30年度から小中一貫教育を実施するために、児童生徒及び小中学校教員の連携・交流を一層深め、その基盤づくりに取り組んでいきます。

【基本方針】

1 「豊かな心や感性をはぐくむ

教育の推進

- ・人権尊重の教育を推進するとともに、子どもの豊かな心をはぐくむ社会体験や自然体験、交流学习などの機会を充実します。

2 「確かな学力の向上と個性の伸長」

- ・基礎的・基本的な知識を確実に身に付け、子ども一人一人の学び意欲や思考力・判断力・表現力等の資質・能力を育成します。

3 「心と体の健康づくりの推進」

- ・子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、運動する楽しさをも味わわせます。

4 「ふるさとを誇れる教育の推進」

(要旨)

- ・地域行事やボランティア活動等に積極的にかかわる中で、よりよい地域づくりに進んで参加する意欲や態度を育てる教育を推進します。

5 「安心と、魅力・活力ある学校教育の推進」

- ・子どもたちが安心して学校生活を過ごすことができるよう環境整備に努めます。

6 「生涯学習環境の整備・充実」

- ・豊かな人間性の育成と人権を尊重する社会を実現するためにあらゆる機会をとおして人権教育の推進を図ります。また、多様に学ぶ学習機会の充実を進めます。

平成29年度予算の概要

平成29年度主要施策

●活気ある村づくりの促進（道路整備等）

- ・村道小長尾線の改良事業の継続
- ・村道亀山線等主要路線の舗装補修事業の継続
- ・橋りよう定期点検の実施
- ・活気ある村づくりを推進するための大字活性化交付金の創設
- 産業の育成・地域資源を活かした活性化
 - ・農林業公社への運営支援
 - ・産地維持のためのトマト選果機、ほうれん草保冷库の導入助成
 - ・地域おこし協力隊制度を活用した農林業後継者の育成及び確保の実施

- ・施業放置林整備事業、森林づくり基盤整備事業、獣害につよい里山づくり事業等の林業振興策の継続

- ・観光地をPRするための組織（広域連携DMO）を近隣市村で設立し、観光ツアーの商品化等の取組を実施
- ・ふるさと納税で積み立てた基金を活用した曽爾高原管理並びに保全活動の実施

●保健・医療・福祉の推進

- ・学校及び保育園給食費助成の継続
- ・緊急通報装置設置事業、移動支援事業の継続
- ・特定健診、がん検診の更なる受診率向上への取組

並びに健診結果個別指導の重点実施

●生活基盤と防災体制の整備

- ・簡易水道再編事業の継続
- ・地籍調査事業の継続
- ・防災マップを活用した村民に参加していただく防災訓練の開催

- ・非常食や資機材を備蓄し、関連会議等を開催するための防災拠点施設建設工事の実施

●ひとづくり

- ・小学校複式学級解消のための教員確保の継続
- ・小中一貫教育校の今後の進め方に関する議論の継続

- ・人権を大切にする地域づくりのためのコミュニティ活動の推進

●伝統・歴史文化の継承

- ・次世代への継承及び芸術性や魅力を発信するための曽爾の獅子舞継承三百

年祭の開催
歴史的価値のある伊勢本街道の整備

●定住促進

- ・空き家バンク制度での新たな空き家の確保及び移住者増加への積極的な取組を実施

【平成28年度の補正予算事業を29年2月補正に計上】

●地方創生拠点整備交付金事業

- ・曽爾村地方創生総合戦略に基づき、漆復興拠点施設及び農産物加工施設を整備するための地方創生事業の実施

－ 予算総括表 －

（単位：千円）

会 計 名		29年度予算額	28年度予算額	比較増減額
一般会計		2,154,000	1,842,800	311,200
国保	事業勘定	288,300	290,500	△2,200
	直診施設勘定	138,400	136,100	2,300
簡易水道事業		126,900	223,900	△97,000
住宅新築資金等貸付事業		2,700	3,300	△600
介護保険		296,300	305,200	△8,900
後期高齢者医療		30,600	31,000	△400
合 計		3,037,200	2,832,800	204,400

一般会計施策別

主要事業一覽

●大字活性化交付金事業

(新規)

180万円

自治会運営の円滑化を図るため全ての大字に対して活性化交付金を交付します。

●移住定住促進事業

2,258万円

空き家改修及び空き家家財道具整理補助事業を実施し、空き家バンク制度を充実させます。

●地域おこし協力隊事業

7,132万円

農林業後継者としての受け入れ及び集落の地方創生総合戦略に基づく活性化事業等に従事します。

●農林業公社運営支援事業

3,927万円

トマト・ほうれん草等の産地強化、森林資源活用等の事業及び集落のイノベーション事業を推進する公社に対して運営支援を行います。

●緊急時高齢者等在宅支援事業

117万円

ひとり暮らしの高齢者等の居宅に緊急通報装置を設置し、緊急事態の発生時に専門知識を有するオペレーターが

在宅生活の支援を行います。

●高齢者等移動支援事業

173万円

高齢者等の日常生活の利便性の向上と社会参加の促進を図るため、タクシー利用券を交付し料金の一部を助成します。

●地籍調査事業

3,572万円

正確な地籍簿と地積図を整備するため地籍調査を実施します。本年度は大字太良路地内を中心に調査します。

●中山間地域等直接支払制度事業

785万円

耕作放棄地の発生を防止するため、農業生産活動を行う集落に対して交付金を交付します。

●産地パワーアップ事業

(新規)

2,500万円

新規就農者に貸し出すため

の農業用パイプハウスの整備を行います。また、ライスセンターの米乾燥機の一部を更新するため、J-Aに対して助成を行います。

●村道小長尾線改良事業

1億9,434万円

主要幹線から中学校、防災ヘリポート等へ続く村道小長尾線の車両や歩行者の安全確保を図るため、改良整備を行います。

●村道亀山線等舗装補修事業

9,450万円

平成25年度の路面調査結果に基づき主要村道の舗装補修整備を行います。

●橋りょう定期点検事業

3,000万円

平成26年7月に施行された省令に基づき自治体管理の橋りょうの点検を行います。

●沿道危険木伐採事業(新規)

100万円

大字が実施する村道沿い危

険木の伐採除去経費の一部に対して補助金を交付します。

●防災資機材等備蓄施設整備事業

9,226万円

防災体制の充実強化を図るため、防災拠点施設等の整備を行います。

●複式学級解消事業

706万円

小学校の複式学級を解消するため、村費で教職員2名を配置します。

●曾爾の獅子舞

●継承三百年祭事業(新規)

364万円

継承三百年を祝う記念式典を主催する実行委員会に対して補助金を交付します。

●伊勢本街道整備事業

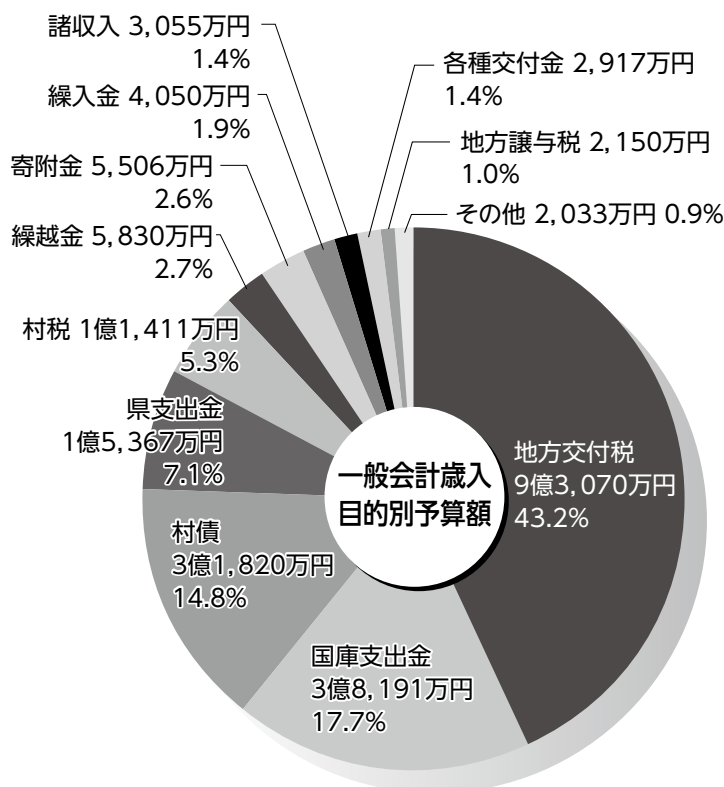
4,372万円

大阪から伊勢を結び「歴史の道百選」に選ばれた伊勢本街道を整備し、伊勢参詣人等を出迎えます。

平成29年度の予算総額は30億3,720万円(前年度比2億440万円の増額)となります。
そのうち、一般会計は21億5,400万円(前年度比3億1,120万円の増額)となります。

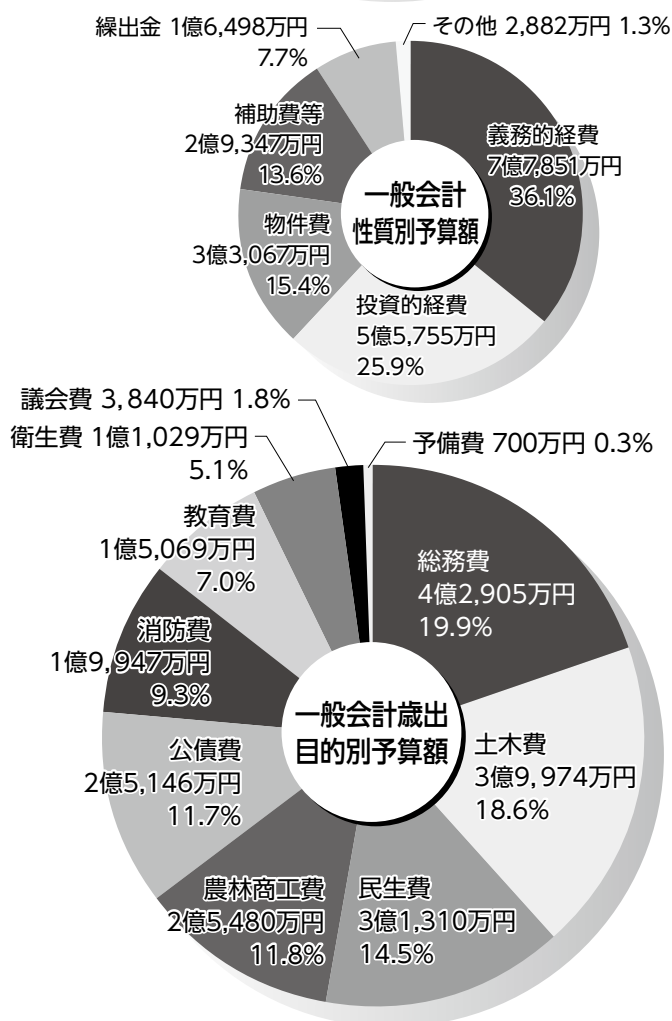
◎一般会計歳入(前年度比較)

- ・**地方交付税** 過疎対策事業債等の交付額の減少及び国の予算総額の減少により減収
▼前年度比 676万円減
- ・**国庫支出金** 防災資機材等備蓄施設整備、村道小長尾線改良及び主要村道の舗装等事業費等の増加により増収
▼前年度比 1億6,031万円増
- ・**村債** 農業用パイプハウス整備、米遠赤外線乾燥機導入費等の増加により増収
▼前年度比 6,820万円増
- ・**県支出金** 地籍調査、農地環境整備計画策定、伊勢本街道整備費等の増加により増収
▼前年度比 2,901万円増
- ・**村税** 前年度の収入状況等を踏まえ算定している法人村民税及び村たばこ税の減収
▼前年度比 64万円減



◎一般会計歳出(前年度比較)

- ・**総務費** ふるさと納税業務、地域おこし協力隊増員等により増加
▼前年度比 862万円増
- ・**土木費** 村道小長尾線改良及び主要村道の舗装補修事業等により増加
▼前年度比 1億1,684万円増
- ・**民生費** 国民健康保険特別会計繰出金等により減少
▼前年度比 136万円減
- ・**農林商工費** 地籍調査、産地パワーアップ事業等により増加
▼前年度比 1億650万円増
- ・**公債費** 過年度発行債の元金償還の開始等により増加
▼前年度比 3,220万円増
- ・**消防費** 防災資機材等備蓄施設整備事業等により増加
▼前年度比 6,449万円増
- ・**教育費** 集会所解体事業等により減少
▼前年度比 1,402万円減
- ・**衛生費** 宇陀衛生一部事務組合負担金等により減少
▼前年度比 183万円減



議会だより

3月定例会一般質問

3月定例会の一般質問の要旨は、次のとおりです。（発言順）

■松本喬議員

問① 女性消防団の創設について

いつ起るか判らない未曾有の災害に対して、防災マップの作成、防災資機材備蓄施設の新設、各大字での自主防災組織の編成、消防設備の充実等の施策は講じておりますが、過疎高齢化に伴う人口減少による消防団員の確保には、どの支部も苦慮されているところと思います。特に平日の火災発生時には、初期消火において団員が集まらず、大火になってしまうことも懸念されます。3月14日の予算決算委員会での答弁でもありましたが、消防組

織法に基づく団員定数130人に対し、現在122人平均年齢は40歳とのことでした。これから

先、団員確保は更に難しくなると思えます。そこで、女性消防団を創設して、地域に根ざした女性ならではの防災広報活動や人暮らし高齢者宅の防火訪問、更には団員としての基礎知識、消火栓や小型可搬式の消防ポンプの基本操作等の習得をしていただき、時には男性消防団員と共に活躍できる組織づくりを検討する必要があると思います。全国の消防団員約86万人の内、女性消防団員は約2,400人、近隣の事例で宇陀市が昨年10月に16名の団員で結団式をされたと聞いています。今すぐに女性消防団づくりは無理でも、今の消防団の中に女性消防隊を結成してどうか、また、機能別消防団員制度、いわゆるOB団員制度の創設など、団員減少に伴う新しい組織づくりを考えてはど

うかと思えます。村長の考えはどうか。

答弁 ①（多田村長）

東日本大震災から、丸6年をむかえました。また、その後におきましても広島や関東、東北での豪雨。そして昨年4月の熊本地震、12月の魚川市の大規模火災など、近年各地において大規模災害が多発しています。そのような中で消防団は、このような火災・地震・風水害などの災害時や村の防災にとって欠くことの出来ない存在であります。議員ご指摘のとおり過疎化高齢化が進む中、今後更に消防団員の確保が難しくなると予想され、その団員確保は、喫緊の課題であると認識しています。消防団員の欠員があると言つことは、すなわち地域の防災力が低下しているということにも繋がります。そのことから先ずは、消防団員の欠員確保に努めていきたいと考えています。また、地域の防災力

を補完する上で、消防署は、常備消防組織としてその果たす役割は重要であります。防災力の強化を図るために、奈良県広域消防組合組織も発足し、有事の際には素早く消防ポンプや隊員も多く出動されるようになりま

した。また、各大字では、消防団の後方支援活動組織として自主防災組織がすべての大字で結成されていますので、この組織の強化、特に消防団OBによる消化班の後方支援体制づくりを進めていかなければならないと考えています。消防団は条例化により組織しており、消防団員は、消防団長が任命することになります。消防団員は、男女問わず入団できますが、本村の団員確保の状況から見て女性消防団員の確保は大変難しいと思われるのですが、女性の消防組織作り等、今後の消防組織のあり方や自主防災組織との連携について消防団長及び消防団幹部の皆さんと十

分協議を行い、曾爾村の防災力の向上に努めていきたいと考えています。なお、曾爾村消防団の現状と全国、県内の女性消防組織の現状について、担当課長から説明します。

説明 ①（佐伯総務課長）

曾爾村消防団は、条例定数130人に対して、実人数122人です。その内、村内に居住している団員は、77人。村外に居住している団員は45人となっています。職場の状況は、村内で就労している団員65人、村外で就労している団員は、57人です。一方、全国の消防団で女性消防団員が在籍している消防団の割合は、66.9%。県内39市町村の内、19市町村で女性消防団員が在籍しています。一番多く在籍しているところで奈良市の34人。次いで十津川村の29人です。少ない所では、平群町の1名です。人口の多いところでも女性消防団の結成は大きな課題となっています。

■大向重信議員

問② 里山地域での伐採と跡地について

今般、県事業「獣害に強い里山づくり事業」の協定期間が見直されたことにより、伐採後の翌年から植栽ができるようになりました。今後、各地域で彩りある里山形成に向けた取り組みが進められると思います。こうした状況の変化により、「獣害に強い里山づくり事業」と「里山再生事業」計画地約40ヘクタールを10年計画で伐採し、跡地に桜や漆などの広葉樹、ゆず・梅・柿・ブルーベリーなどの果樹、また、景観の良いところには花を植え観光に役立てるなど、地域の実態に合わせた植栽の考えが示されました。村長が提唱する住み続けたい曾爾村に向けての重要な施策と思いますが、これから事業に取り組み集落がある二方、協定期間終了が近づいている集落があります。協定期間終了後、管理

されなくなった場合、荒廃が進み景観にも影響を及ぼし、「日本で最も美しい村めるべの郷曾爾」を訪れた方のイメージを損なうことも懸念されます。果樹や花木などを植栽することによって、新たな産業の創設や人々の交流の場につながり、里山の社会的評価向上に繋がっていくと考えます。里山地域での伐採と跡地利用について、今後の財源確保を含め、事業の推進について村長の考えはどうか。

答弁 ② 芝田村長

里山の杉檜等の伐採については、平成25年度から県の事業として、「獣害に強い里山づくり事業」、平成27年度からは、村単独事業として「里山再生事業」を創設し、取り組んでいます。その財源として、県事業は、奈良県森林環境税、村事業は、過疎対策事業債を活用しています。森林環境税は、奈良県が条例化して平成18年度から平成22

年度までが第1期、平成23年度から平成27年度までは第2期、平成28年度から平成32年度までの5年間、第3期目の延長がされ、事業が継続されることになりました。また、「里山再生事業」につきましても「獣害に強い里山づくり事業」を補完するため、補助対象にならなかった地域や草刈り等の管理について、継続して支援していく制度です。また、協定期間5年終了後の対策については、国の事業として「森林山村多面的機能発揮対策交付金事業」の活用を考えています。事業内容は、森林・林業を支える山村地域では、過疎化等が進む中、かつてのように生活に必要な薪や炭の生産の場として利用されなくなったことに伴い、地域住民と森林との関係が希薄化し、森林の手入れが行われなくなったことで、特に里山林の荒廃が進行し森林に有する多面的機能の発揮が難しくなっています。

す。そのことから、森林所有者、地域住民、自治会等が実情に応じて協力し、構成する活動組織が行う地域環境保全、里山保全や森林資源利用、教育研修活動などの森林機能強化の取り組みなどに支援されます。地域環境保全森林資源利用活動では、雑木の草刈り、作業道の作道、炭焼き、椎茸原木などの特用林産物の植え付けやその他の広葉樹や果樹の植栽、鳥獣害防止保護柵等の設置、また、教育研修活動では、森林環境教育や森林施業技術向上に向けた技術指導や必要な機材や資材、刈り払い機やチェーンソー、苗木なども対象になります。事業は、3年間で1活動組織あたり500万円を上限として支援されます。他にも「みんなの森里山整備事業」があります。この事業も自治会等の組織団体が自ら策定した緑化計画に基づき、住民参加による緑化推進運動の活性化に対し

支援する事業です。主に苗木や肥料等の経費が対象になります。1団地概ね500㎡以上で30万円を上限としています。どちらの事業においても各大字地域において、その受け皿となる組織作りが必要です。各大字地域の実態に合わせた活動を行い、地域の活性化を図ると共に、村の景観や環境を守っていくために里山事業の推進を図っていきたいと考えています。

■大向重信議員

問③ 高齢者の見守り支援について

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加する中、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、見守り支援が重要と考えています。曾爾村では、在宅の一人暮らし高齢者を対象に緊急通報装置を設置し、急病等の緊急時に安否確認を行い、在宅者が安心して生活が出来る

ように一定の体制は整えていますが、在宅の高齢者のみの世帯も対象にするなど、支援の範囲を見直す考えはあるのか。また、情報機器の進展が目覚ましい中、技術の進展により、エイアイと言われる人工知能技術の革新が進んでおり、最新の機器では、異常をセンサーが察知し、通報することができるようもあります。こうした機器を導入すれば、熱中症で倒れたりインフルエンザで寝込むなどしてもより安心感が増すものと思います。技術革新が目覚ましい中、現状の通報装置で問題などはないのか、村長の考えはどうか。

答弁 ③（芝田村長）

緊急時高齢者等在宅支援事業は、以前実施していました福祉電話緊急通報装置貸与事業を改め、平成23年12月から実施しています。その目的は、在宅の一人暮らし高齢者等に緊急通報装置を貸与し、日常生活における

急病や災害時等の緊急時に専門知識を有するオペレーターが随時支援することになっていきます。また、緊急時だけでなく日常何か困ったときの相談や月に一度お伺い電話で利用者の健康状態や生活状態など把握しています。利用対象者は、概ね60歳以上の一人暮らしの方、身体上疾患があるなどの理由により、日常生活を営む上で常時注意を要する方、また、村長が特に認める方です。利用していただいている方の中には、その他村長が特に認める方として、日中高齢者一人だけになる世帯や高齢者夫婦で日常生活に不安がある世帯にも、この制度を活用していただいているなど、利用を要する方の状況に応じて柔軟に対応しているところです。制度開始当初は、18世帯の利用でしたが、今年1月末で45世帯の方に利用していただいています。その内、単身世帯は37世帯、そ

の他高齢者のみなどの世帯は8世帯です。この事業運営の状況は、機器については大きな問題もなく、オペレーターからのお伺い電話、また、日常生活において何か困ったときの相談にも応じています。緊急の場合は、あらかじめ決められた近隣の協力員2名の支援を受けられる体制も整っており、安心して利用していただいています。しかしながら、今後高齢者が増えることから利用者也増えると想定され、現在よりも高度なシステムの導入も検討していかなければならないと考えています。なお、利用状況の内容や近隣村の状況など担当課長から説明します。

説明 ③（宇山保健福祉課長）

現在の利用者数は、45世帯です。平成28年3月から平成29年2月までの直近1年間の状況として、オペレーターとのやり取り総件数は、1,325件。その内、相談や連絡で37件。通報装

置の試し押しが114件。お伺い電話が873件。保守通報が103件。うっかり押しが33件。その他が165件となっています。近隣村の状況として、御杖村においても本村と同様のシステムを運用していますが、何かあった場合の連絡は、役場が受けています。東吉野村では、人感センサーを設置し、人の動きを察知し動きが無くなった場合、自動的に役場に連絡が入るシステムで、それと共に相談や緊急ボタンがあり、それを押すと連絡が入るシステムです。野迫川村では、テレビの電源を入れると役場にメールが入るシステムを導入しており、長時間テレビの電源が入らなければ異常事態のメールが届くようになっています。

■大向重信議員

問い ④防災訓練について

平成23年の紀伊半島大水害では、県南部に多大な被害が発生

しました。近年、記録的な大雨の発生や巨大な台風の襲来が予想され、南海トラフを震源とした地震が発生すれば、広範囲に甚大な被害が予想されます。災害の発生を防ぐことは出来ませんが、災害に対する日頃の備えや避難の徹底を図ることにより、被害を減らす事はできると思います。村長の施政方針で、防災意識を高めるため、全戸配布した防災マップを活用して防災訓練を行うとしています。被害を減らすためには、常日頃から、各自が生活している場所が災害に対してどのような状況にあるのか意識しておく必要があります。関係機関との連携や訓練の規模、住民への周知方法などについて、防災訓練の具体的な内容はどう考えているのか。過去には本村で伊勢湾台風を経験し、風景が一変したことを覚えています。近年、突発的で局地的な大雨が発生しており、日頃から避難訓練

をしておくことにより、避難経路や場所の確認になり、危機意識の向上に繋がります。自分が住んでいる地域がどのような災害リスクがあるのかを認識し、普段から命を守る行動に繋げていかなければなりません。議会としても「災害対策要領」を策定して昨年2回訓練を実施しました。こうした訓練によって有事の際に命を守ることができると考えます。村長の考えはどうか。

答弁 ④ 菅田村長

曾爾村防災計画を策定し、すべての大字に自主防災組織を結成していただきました。各大字ごとの防災マップも出来上がり各戸に配布しました。下曾爾地区では、避難所である旧小学校体育館の整備も完了しました。これらを活用しながら、また、防災ヘリポートも使用し、消防団や各大字の自主防災組織など、村内・県内あらゆる関係機関の協力を得て、災害に対する村民の

意識を高めていただくと共に、有事の際には素早く安全に避難できるよう、住民参加による防災訓練を本年実施する計画を進めています。なお、検討している訓練計画の概要を担当課長から説明します。

説明 ④ (佐伯総務課長)

県の自主防災訓練支援事業を活用して実施する計画です。この事業の目的は、災害から身を守るため、体験を通じて実践的行動に繋がる力を自分たちで身につけるため、県と村が連携して、地域住民が主体的に企画、参加して行う訓練とされています。消防団、自主防災組織、各種団体、自治会が連携して実施していただけるように考えており、訓練の内容については、本村では防災マップを作成したことから、避難訓練を軸に他の訓練と組み合わせるなど、今後、各関係機関に集まっていたとき、どのような訓練が必要であるのか、また、

訓練の日程、規模等協議して具体的に決めていきたいと考えています。具体的な内容が決まれば、大字総代を通じて、住民の皆様にも周知していきたいと考えています。

■議会傍聴のお知らせ

本会議や常任委員会・特別委員会是一般に公開され、個人でも団体でも自由に傍聴できます。傍聴は、議会活動に触れる最も身近な方法でもありますから、自分の選んだ議員の活動や村政の方針などを実地に見聞できる議会の傍聴をお勧めします。

傍聴にあたっては、会議当日に議場傍聴席入り口にある傍聴人受付簿に住所・氏名・年齢をご記入していただくだけで傍聴していただけます。

次回定例会は、6月です。なお、議会日程等は、ケーブルテレビ等でお知らせします。

介護相談員 委嘱状交付式

去る3月27日、介護相談員委嘱状交付式が行われ、新たに介護相談員が委嘱されました。任期は平成32年3月までです。



曾爾村介護相談員

萩原 絹代さん (現)

田代 公隆さん (現)

堂浦 美由紀さん (新)

私たち介護相談員は、みなさまのお体の様子やご意見をうかがい、介護保険制度とは何かを伝えたり、みなさんが利用しやすいようお手伝いをさせていただいています。

地域おこし協力隊の委嘱式が行われました。

曾爾村地域おこし協力隊の委嘱式が4月3日、村役場で行われ、2年目隊員10名と新隊員3名に交付されました。協力隊は総勢15名となりました。自分のスキルを曾爾村で存分に発揮し、村を元気に活性化して下さることを期待します。新隊員は下記のとおりです。

	名 前 森田 千裕 出 身 三重県伊賀市 活動分野 自然里山魅力発掘(観光) 抱 負 自然豊かな曾爾村の美しさをより多くの人に知ってもらう。
	名 前 渡利 晃輔 出 身 神奈川県横浜市 活動分野 森を活かしたなりわい創出(林業) 抱 負 曾爾村の役に立つ活動をしていきたいと思います。
	名 前 並木 美佳 出 身 埼玉県さいたま市 活動分野 漆部郷復活(うるし) 抱 負 曾爾村の漆文化が元気になるよう頑張ります!!



元気な集落づくり支援事業 取組事例のご紹介

元気な集落づくりを推進するため、住民による自主的、自立的なむらづくりに取り組みむらづくり団体を紹介します。

今井横輪地区クリスマスローズの会

「日本で最も美しい村」にふさわしい地域にするため、今井横輪地域の有志14名が集まり、家の周辺や道路にクリスマスローズを植栽しています。

この活動により景観美化推進と地域の活気と親睦をはかり、クリスマスローズを通じて住民や観光客に親しまれ、癒やしを得ることを目的としています。

「クリスマスローズとは」

冬から早春にかけて開花する、耐寒性の強い宿根草です。丈夫で育てやすく毎年、花を楽しむことができ、高い人気を集めています。花に見える部分は、萼片(がく)と呼ばれる部分です。最近になっていろいろな色、形の優れた花が出ています。

スイセンなどと同様、毒性があるため、鹿やイノシシなどの獣害を受けにくい花です。



県道赤目掛線脇に植えられたクリスマスローズ。道行く人の目を楽しませる。

☆曾爾中学校音楽部のコンサートが行われました☆

4月6日(木)に曾爾中学校の音楽部のみなさんが来てくれました。となりのトトロやアンパンマン、プリキュアのテーマソング等、子どもたちのよく知っている曲を演奏してくれたので、子どもたちも一緒に歌ったり、曲に合わせて踊ったりと楽しい時間を過ごしました。



知っている曲がいっぱいでした♪



プリキュアになって一緒に踊りました♪



ぬりえのプレゼントをもらいました。



素敵な演奏をありがとう!!

子どもたちの成長を願って…

こいのぼりと一緒にハイポーズ!!



うさぎ・きりん組(1,2歳児)



赤・黄・青組(3,4,5歳児)

平成29年度 曾爾村消防団入退団式

4月23日(日)平成29年度曾爾村消防団入退団式が曾爾村振興センターで開催されました。

芝田村長より退団者に感謝状が贈られ、また、新たに分団長となられた皆さんと、新入団員の皆さんには、北畠消防団長からそれぞれ任命書が手渡されました。その後、新入団員を代表して、第2分団 芝田秀人さんが住民の生命と財産を守り忠実に消防の義務を遂行するとの宣誓を行いました。



団 長 北畠達也
副 団 長 山縣 徹
〃 田中 巧
〃 吉田茂一

分 団 長 第1分団 枘田勇治
〃 第2分団 森澤英之
〃 第3分団 小西利明

退 団 者 吉田忠司 (第1分団)
〃 大向 満 (第2分団)
〃 坂井康人 (第3分団)

新入団員 第1分団 山下竜一郎
〃 第1分団 新子 光
〃 第1分団 中野展宏
〃 第1分団 會田信也
〃 第2分団 芝田秀人
〃 第2分団 山本仁史
〃 第3分団 新宅伸弘
(敬称略)

火災を発見したときや病気やけがで救急車が必要なときは119番で通報して下さい。

平成29年度 特定健診・がん検診の申し込みはお済みですか？

検診項目	対象年齢	健診費用	実施日・場所
集団検診	特定健診(血液検査・診察・尿検査・心電図等)	40歳以上の国保加入者または、後期高齢者、協会けんぽの家族	500円
	胃がん(バリウムによるX線撮影)	35歳以上の方	500円
	肺がん(X線撮影) *結核検査含む	40歳以上の方	300円 喀痰500円
	大腸がん (便潜血検査)	35歳以上の方	300円
	前立腺がん (血液検査)	40歳以上の男性	600円
	肝炎ウィルス (血液検査)	40歳以上の方 (今まで受けたことのない方)	400円
	子宮がん検診 (頸部)	20歳以上の女性 (昨年受けていない方)	600円
個別検診	乳がん検診 (マンモグラフィ)	40歳以上の女性 (昨年受けていない方)	1,000円～ 1,500円
	胃がん検診 (内視鏡)	50歳以上の方	3,000円
	子宮がん検診 (頸部・体部)	20歳以上の女性 (昨年受けていない方)	2,000円～ 3,500円
	乳がん検診 (マンモグラフィ)	40歳以上の女性 (昨年受けていない方)	1,500円～ 2,000円

申し込みがまだの方は、今すぐお電話を→ 保健福祉課 ☎94-2103

平成29年度国家公務員採用一般職試験 (高卒者試験)

申込受付期間

◎インターネット(原則)

6月19日(月)

～6月28日(水)

○郵送または持参

6月19日(月)

～6月21日(水)

(通信日付印有効)

第一次試験日 9月3日(日)

試験地 奈良市、大阪市ほか

※受験資格等の詳細は、5月9

日(火)から人事院ホーム

ページ「国家公務員試験採

用情報NAVI」に掲載し

ます。

お問い合わせ

人事院近畿事務局

試験第二係

☎06-4796-2191

B&G財団より電 気自動車を無料貸 与

この度、公益財団法人ブルー
シー・アンド・グリーンランド財
団(B&G財団)より、曾爾
村に電気自動車(日産e-NV
200)が無料貸与(3年間)
されることとなりました。

141件の応募の中から、活
動計画や施設利用状況、立地条
件など考慮し、車両が最も有効
に活用できる海洋センター60カ所
に選定されました。



無料貸与される日産電気自動車(日産 e-NV200)

奈良県無料職業紹介所

求職登録を受け付けています

奈良県無料職業紹介所では、

県のしごとマッチングアドバイザーが、求人企業のニーズ、求職者の経験や将来の方向性を把握するため、求人企業求職者双方と面談し、互いのニーズに合った紹介を行います。

将来、『奈良で働きたい』、『地元で活躍したい』そんなあなたをお待ちしています。

ご利用にあたっては登録時に面談が必要です。（1時間程度）

登録希望の方は、電話にて面談日時を予約し、お越しく下さい。（予約制）

※最終の面談開始時刻は16時です。

お問い合わせ

奈良県無料職業紹介所

業務時間 月曜日～金曜日

9時～17時（祝・休日、年末年始を除く）

<http://www.pref.nara.jp/23913.htm>

・高田しごとセンター

大和高田市幸町2-33

奈良県産業会館3階

☎0745-24-2007

FAX 0745-24-0101

自動車税の納期限は5月31日（水）です

自動車税は、毎年4月1日現在の所有者（割賦販売などの場合は使用者）に課税されます。

必ず納期限（5月31日）までに納付してください。納期限を過ぎると延滞金が増加され、滞納処分（財産の差押え等）の対象となります。

金融機関や県税事務所の窓口だけでなく、コンビニ、ペ

イジー、インターネットを利用したクレジットカードでも納付ができます。詳細につきましては、納税通知書に同封のチラシをご覧ください。運輸支局での住所変更手続きが遅れている等の理由により、自動車税納税通知書が届いていない場合は、奈良県自動車税事務所（自動車税第一課 ☎0743-51-0081）へご連絡ください。

※住所を変更された方や県外ナンバーの自動車をお持ちの方は、運輸支局ですみやかに変更登録の手続きをしてください。



山火事予防運動

4月29日（土）から5月7日（日）まで

「火の用心 森から聞こえる ありがとう」

平成29年山火事予防全国統一標語

この運動は、全国的に山林などの火災が多発するこの時季に展開することにより、貴重な財産を火災から保護し入山者などや山林関係者および管内住民などの火災予防思想のより一層の普及を図ることを目的として活動します。

- 重点項目**
- ・たき火、火入れの防火指導および条例届出の徹底。
 - ・林野周辺住民、入山者などへの火災予防広報活動。
 - ・車両による防火パトロールの実施。



お願い 火災とまぎらわしい煙または火災を発するおそれのある行為を実施する場合は
曾爾村役場または宇陀消防東分署へ届出をおこなってください。

お問い合わせ 奈良県広域消防組合宇陀消防署 予防課 ☎0745-82-3199

2016年度『地区別懇談会（小場懇）』のまとめ

テーマ ～育てよう 一人ひとりの 人権意識～ ― 身近なことから人権を考えてみませんか ―

ねらい 『日常生活のさまざまな人権に関する問題について考え、話し合い、それをくらしの中に生かす行動によって、住みよい村づくりをめざす。』

開催時期と話し合われた主な内容 （地区別懇談会実施報告書より）

大字	報告数	開催時期	参加者	話し合われた主な内容
山 粕	6	1月5日～ 1月15日	56名	○日常生活の中で困っていることについて ・泥棒対策 ・外灯の設置 ・神社の当屋 ○河川清掃など地域の行事への積極的な参加について
掛	5	10月16日～ 1月7日	37名	○高齢化により神社祭事の簡素化について ○みんなで支え合う地域のあり方について ・長寿社会の中での過ごし方 ・ゴミかご周辺の清掃
長 野	8	1月6日～ 3月1日	57名	○一人住まいの方の支援について ○村外からの転入者の受け入れや定住について ○戸数・人口減に伴い従前の活動の見直しについて
小長尾	6	2月19日	35名	○大字の神社祭事の持ち方について ○地域防災について ・河川清掃の後の消火栓の訓練が初期消火に役立つ ・土砂災害マップの大字内での徹底を
今 井	8	2月6日～ 2月22日	62名	○地域をよくする取組（景観保全と自主防災）について ○高齢者の支援について ○鹿や猿などの獣害対策の強化について
塩 井	4	1月15日	33名	○高齢者を狙った振り込みサギ防止について ○近隣住民のコミュニケーションの大切さについて ○伝統的な文化、行事の継承について
葛	4	11月19日～ 11月20日	39名	○過疎化・高齢化で困っていることについて ・出合や河川清掃 ・祭りの当屋 ○防災マップと避難場所の確認について
太良路	3	11月26日	27名	○高齢化等に伴う河川清掃などの対策について ○今後の神事や葬儀の見直し等について
伊賀見	8	12月11日～ 12月23日	116名	○地域防災について ・救命講習や避難訓練の実施 ・名張曽爾全線で携帯電話がつながるよう改善を ・災害時の高齢者、障がい者等のサポート体制 ・空屋が増え不安、その管理対策 ○今まで守ってきた地域の神事の継承について
	52報告		462名	

曽爾村人権教育推進協議会

自衛官募集案内

種 目	資 格	受付期間	試 験 日
自衛官候補生	18歳以上27歳未満の者	随時	受付時にご連絡します
技術海上幹部・技術航空幹部	大卒38歳未満の者	4月21日～5月26日	6月26日

詳しくは自衛隊天理募集案内所までお問い合わせください。

自衛隊天理募集案内所 ☎0743-63-2540 ホームページ： <http://www.mod.go.jp/pco/nara>

E-mail： hq1-nara@pco.mod.go.jp

平成29年4月1日付け人事異動

氏 名	異 動 先	旧 所 属
東 口 直 子	曾爾保育園園長兼子育て支援センター所長 課長補佐心得	曾爾保育園
岡 田 正 恵	曾爾保育園	新規採用
石 田 若 菜	保健福祉課	新規採用
退 職	平成29年3月31日付け退職	
木 治 澄 子		保健福祉課主幹
葛 原 由 美 子		曾爾保育園園長兼子育て支援センター所長 課長補佐
再 任 用 職 員	平成29年4月1日付け再任用	
木 治 澄 子	曾爾村国民健康保険診療所	

曾爾小学校

		前 任 校
転入	校長 中山眞一	曾爾小学校教頭
転入	教頭 堀川一郎	三郷小学校教頭
転入	教諭 山本智尊	(新採) 東吉野小学校
転入	講師 米川孝子	室生小学校
転入	事務 野本貴史	式下中学校

		転 出 先
退職	校長 松岡清之	
転出	教諭 田中耕司	国立曾爾青少年自然の家
転出	教諭 仲谷美都莉	御所市立長柄小学校
転出	講師 荻田幸祐	菟田野小学校
転出	事務 西嶋雅子	桜井西小学校
退職	講師 竹川都志子	

曾爾中学校

		前 任 校
転入	教諭 森 貴子	(新採) 桜井東中学校
転入	教諭 大味祐一郎	(新採) 箕面市立第一中学校
転入	講師 岡本恵子	東大阪市立石切中学校

		転 出 先
転出	教諭 岡本拓也	大淀中学校
転出	講師 木下智香子	香芝中学校



政府統計



工業統計キャラクター
ター・コウちゃん

平成29年工業統計調査を実施します

- 平成29年工業統計調査は、従業者4人以上の全ての製造事業所を対象に、平成29年6月1日時点で実施します。
- 工業統計調査は、我が国における工業の実態を明らかにすることを目的とする政府の重要な調査で、統計法に基づく報告義務のある基幹統計調査です。
- 調査の結果は中小企業施策や地域振興など、国及び地域行政施策のための基礎資料として利活用されます。
- 調査票に御記入いただいた内容は、統計作成の目的以外（税の資料など）に使用することは絶対にありません。
- 調査の趣旨・必要性を御理解いただき、御回答をよろしくお願いいたします。

経済産業省・都道府県・市区町村

人口1,528人
(-9)
男 712人
(-6)
女 816人
(-3)
世帯数685世帯
(±0)
(平成29年4月1日現在)

大字別の人口・世帯数

	人口	世帯
山 粕	187 (-6)	94 (-1)
掛	105 (±0)	51 (±0)
長 野	178 (+3)	81 (+2)
小長尾	125 (+1)	53 (+1)
今 井	209 (-1)	91 (±0)
塩 井	107 (-1)	52 (±0)
葛	135 (±0)	51 (±0)
太良路	117 (-2)	52 (-2)
伊賀見	365 (-3)	160 (±0)

(平成29年4月1日現在)

高齢者クラブ活動
(全て13:30~)

カラオケ 第1・第3回
大正琴 第1・第3回
民謡 月1回
手芸 月1回 金
陶芸 第4回
民踊 第2・第4回
アミーゴ 月2回
(10:00~)
せせらぎ 月2回
(13:00~)

●発行 曽爾村役場
●編集 総務課
〒633-1212
奈良県宇陀郡曽爾村
大字今井495-1
☎ 0745-94-2101
FAX 94-2066
●印刷 伊和印刷
●広報曽爾題字
故 清水公照
(第207世、第208世
東大寺別当)

ほけん事業予定表 (5月)

事業名	実施日	時間	対象者	場所・内容等
健康いきいき教室	5月9日(火)	13:30~15:30	平成28年度受講生	○場所：振興センター ○内容：介護予防のためのストレッチ、筋力トレーニング等
歯の健康教室	5月18日(木)	9:00~11:00	保育園児と保護者	○場所：保育園 ○内容：歯科検診とブラッシング指導など
乳がん・子宮がん検診	5月27日(土) 5月29日(月)	13:00~16:00	乳がん：40歳以上の女性 子宮がん：20歳以上の女性 *昨年受診された方は、対象外です。	○場所：老人福祉センター ○内容：乳がん検診(マンモグラフィ検査) 子宮がん検診(子宮頸がん細胞診) ○持ち物：問診票、健康手帳等 *事前申込みが必要です。

TOYO TIRES 第2回スペシャルステージ 曽爾クラシック2017 開催決定

昨年度、初開催ながら大盛況の内に終了いたしましたイベントが来たる5月13日(土)~14日(日)の両日、曽爾高原ファームガーデンをメイン会場として開催いたします。

13日にはファームガーデンにおいて盛大に前夜祭を開催!14日はクラシックカーやスーパーカーが村内を駆け抜けます。また昨年に引き続き掛信号からストアー27までの旧街道を総勢60台の車がパレードしますので、沿道での声援よろしく願いいたします。

両日ともメイン会場への自家用車の乗り入れは出来ませんのでご注意ください。臨時駐車場(曽爾村森林組合)よりシャトルバス(料金500円必要)が運行されますのでご利用ください。



図書室だより

開館日 月~金曜日(祝祭日は休館)

…8時30分~17時15分

毎週土曜日…13時~17時

☆平日、図書室に職員がいませんので、教育委員会事務局までお越しください。

○おはなし会 日時 5月11日(木) 10時~11時

場所 曽爾保育園

謹んでお悔やみ申し上げます

3月30日 大字小長尾 坂上トメノさん(98歳)

4月 7日 大字長野 岡本ミヨ子さん(86歳)

4月 9日 大字山粕 平山キヌエさん(84歳)

4月17日 大字伊賀見 河合 稔さん(95歳)

善意銀行

東 英樹さんより

亡母 ナラミさんの生前のご厚情に対し金一封

尊い善意をお寄せ下さいまして、誠にありがとうございました。

ふれあいサロンの開催について

日時 5月10日(水) 13時~15時まで

場所 曽爾ふれあいセンター

(曽爾村大字山粕)

内容 つまようじを使って手おけをつくります。

持ち物 つまようじ(50本)ヤクルトかヨーグルトの空容器 はさみ(ふれあいセンターでも用意しています。)

※何かわからない事がありましたら(☎94-2731)ふれあいセンター新山まで連絡下さい。(月・水・金曜日午前中のみ)

ご結婚おめでとうございます

3月19日 大字太良路 北谷 大樹 さん
愛知県春日井市 本多 利紗 さん

4月 1日 香川県高松市 合田口圭介 さん
大字伊賀見 政木 薫 さん